

祥瑞  
白菊物語

207  
2  
797

国  
立  
国  
会  
図  
書  
館  
蔵

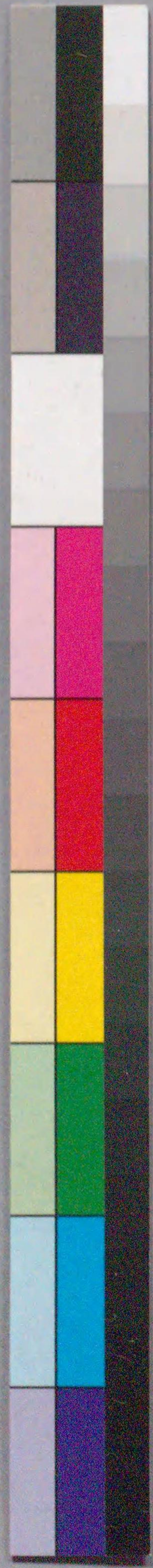
一



国立国会図書館 祥瑞白菊物語 207-797

ガラス使用





祥瑞  
白菊物語  
初篇  
總

207  
2  
797

国立国会図書館 祥瑞白菊物語 207-797

ガラス使用













古今の観べき史をあり。法とまき洞を述る書麻もりも破れく粟もりも数家  
 されど趣半差萬別小者大意の昔忠孝を勵し人倫の道を教諭の外  
 なる爰は往昔菅原孝標朝臣の女著しある更村の日記の八百九十年  
 物も其頃でも礎の礎を築き竹芝の故支武藏野の落乃  
 あいさ命の一節上野徑たどるまき驛路のさな楽々浪や丹穂  
 たる冷海路志賀の山邊の春毎の花幾秋の紅葉と交せし感慨の  
 情と種と。又あらぬひ乃園に夕とあがきしる貞婦の落命懐旧乃  
 腸を断白菊の測れ来由を虚実交々勸徳の趣意に終り祥瑞は  
 菊物語と題し且下葉の雪下壺茶と形を彭祖が酔ひの例ありし長  
 續て泉の潤ひふあらんことと壽き一帖の稿を脱す。

嘉永四年辛夷孟陽

緑亭川柳記



芳々画

甘泉堂様

初篇下



たの 福 とき 早 見 あり 兼 の 之 那

山 乃 此 あり 之 也



瀬川 光成 文



白菊

千代 解





白菊初

水銀賣得之丞



山里の淋

たぐい悪むまむら  
たぐい悪むまむら

悪僧

石巖

先帝の  
姫宮

武藏

野

かき

て

よて

あま

思草

河

なすし

生たぐ

らむ

武藏

竹  
芝



















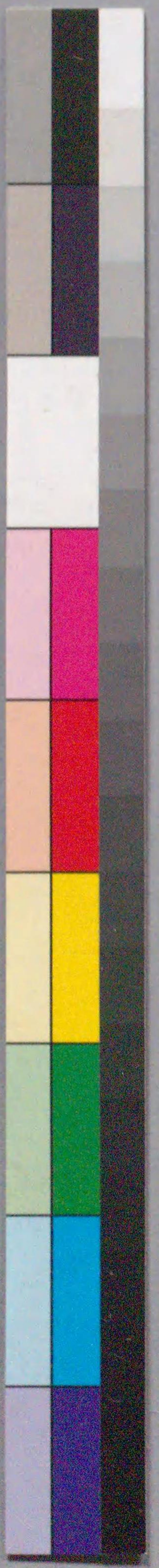




















































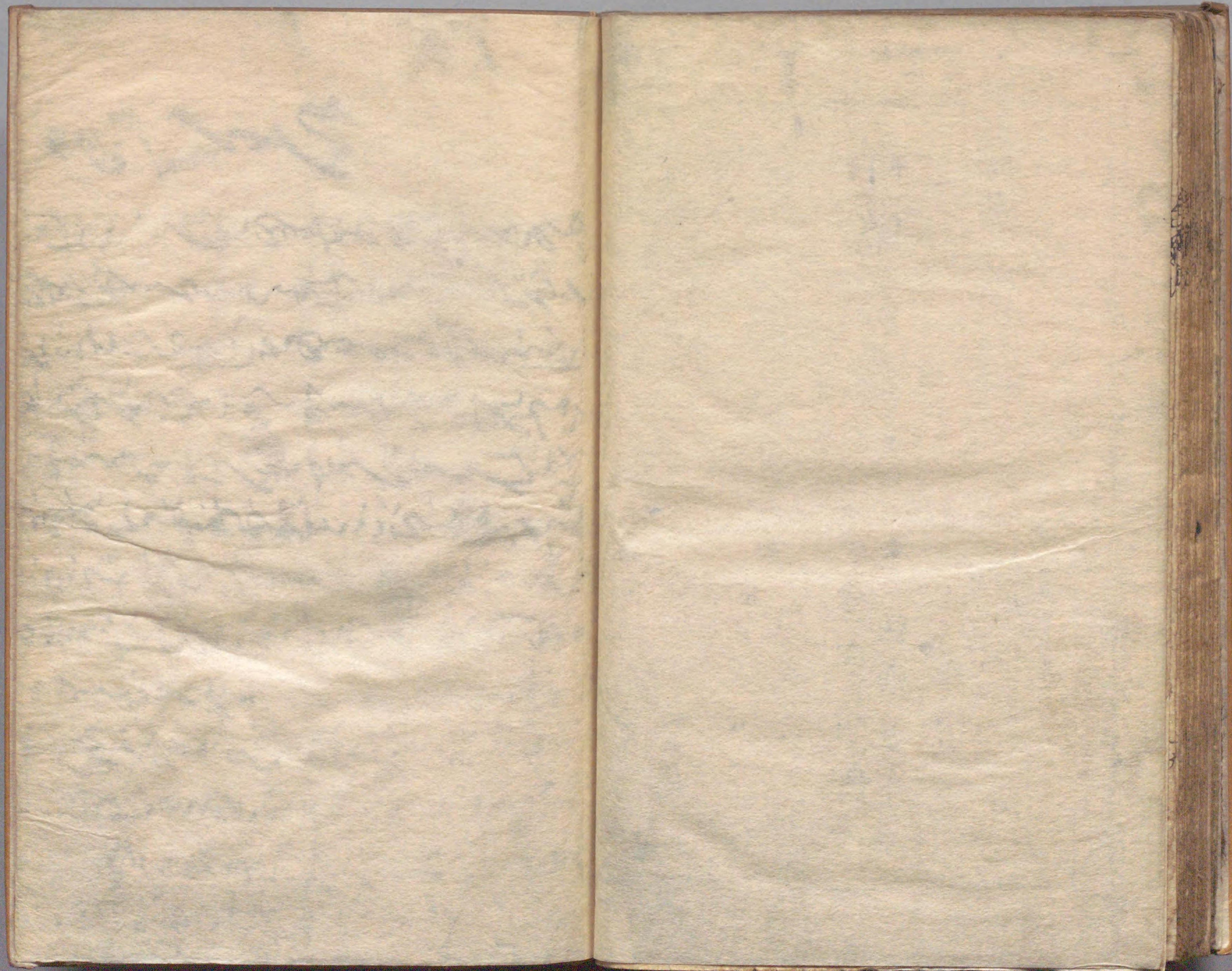
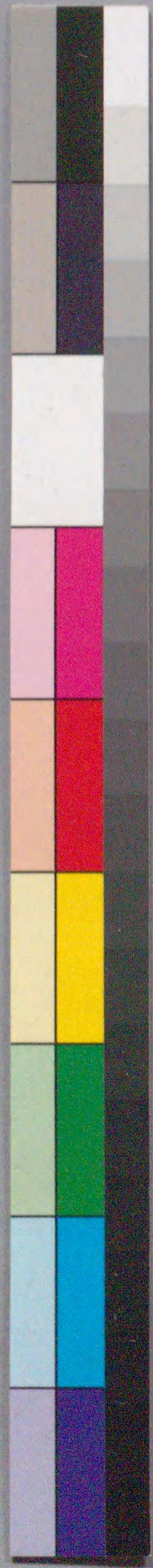








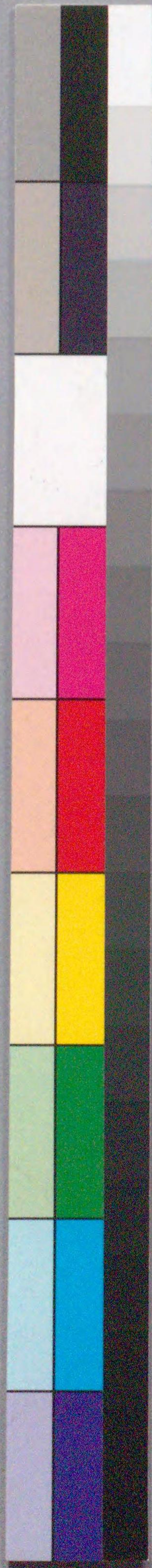




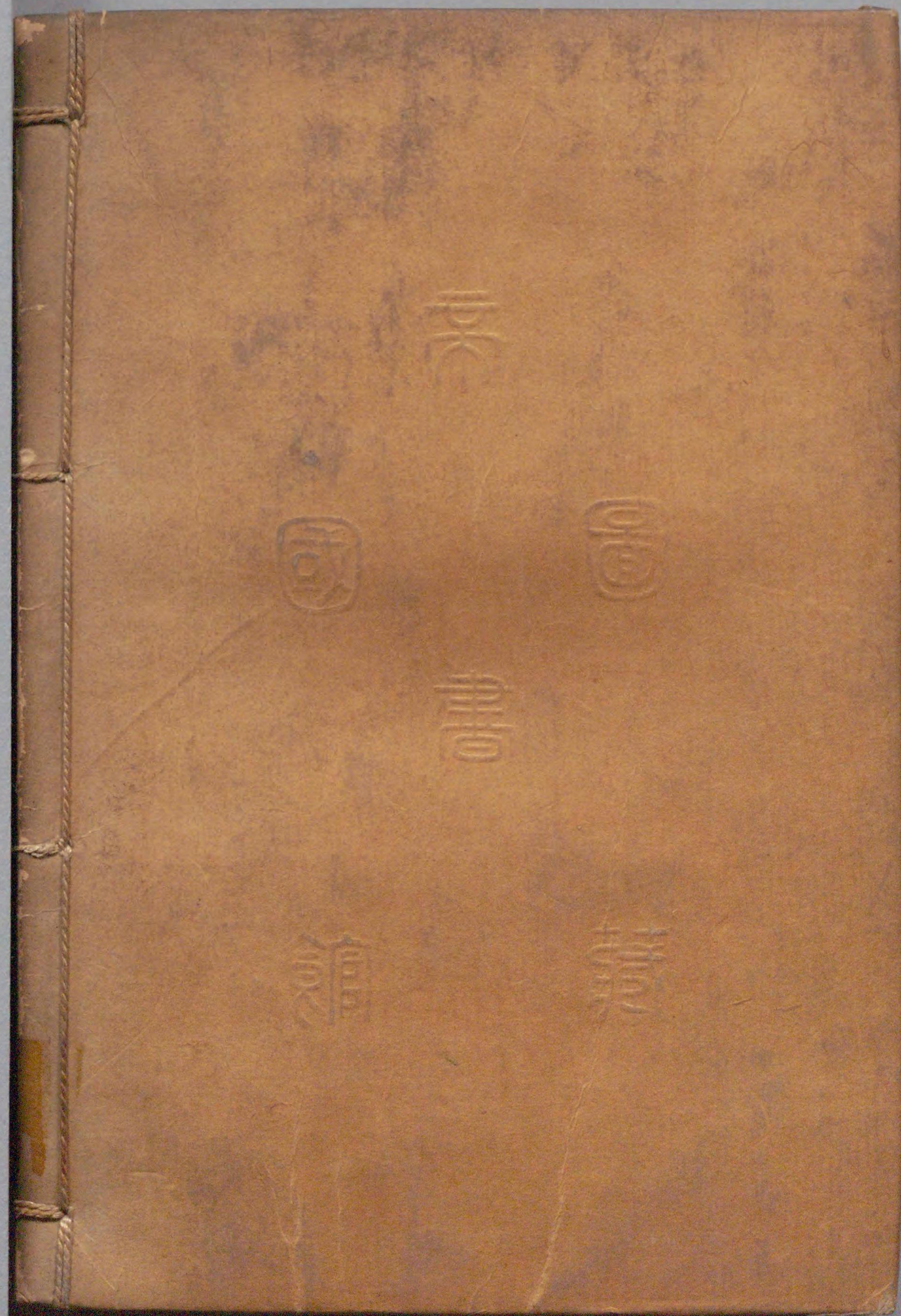
国立国会図書館 祥瑞白菊物語 207-797

ガラス使用





国立国会図書館 祥瑞白菊物語 207-797



ガラス使用

